

もりや里山新聞

'20/3/28

【土曜日】
発行

守谷里山ネット

「親子自然体験・ソーメン流し」

今年猛暑で熱中症の警報や注意報が毎日のように出されています。

そんな真ただ中ではありませんが、八月七日(水)、立沢里山において子育て支援ネットワーク「まもり」の皆さんを迎えて親子自然体験と「ソーメン流し」を行いました。

熱中症対策として、今年は TENT を二張りに増設しました。竹でフレームを制作してシートに上総掘りの地下水をくみ上げてミニプ

そ〜めん流し



ールを設置しました。

暑い日差しの中ですが、やってきた子供たちは冷たい湧水に驚き大喜びです。

さっそく「ソーメン流し」を始めました。今年もソーメンのほかにブドウ、ミニトマト、チョコなど様々な食材が流れてきて大騒ぎです。

昼食の後は里山の会の説明を受けて親子で笹舟を手作りし、小川に流します。午後は更に熱くなってきたので、子供たちはプールではしゃぎまわります。プールにはメダカやドジョウ等も放流して魚つ



笹舟流し

かみをやりました。子供たちは冷たい水が気に入ってプールからなかなかでようとしません。

湧水で冷たく冷えたころを見計らってスイカ割をしました。

その後は、ザリガニ釣りに挑戦です。ザリガニは気まぐれ、その日の水温などの影響で釣れないことも多いのですが、今回は里山の会のメンバーも経験したことがないほど次々と釣れて大喜びでした。むしろ夢中になって

いるお母さんもいました。最後に立沢里山の三つ折りパンフレットと使い方、ペーパーミントの葉っぱをお土産に持ち帰りました。

里山の会のメンバーはツリーデッキに上がり、イベント終了後も残って遊ぶ子供たちを見守りながらしばし休憩です。



ザリガニ釣り

目次

1. 親子自然体験とソーメン流し
2. 田んぼの学校で稲刈り
3. 竹林整備と炭焼き
4. 里山祭りの延期、北守谷夏祭り
5. 立沢里山第四次自然再生事業

ボランティア募集
あなたも一緒に楽しみましょう!

守谷里山ネットワーク

〒302-0119

守谷市御所ヶ丘 5-25-1 守谷市民活動支援センター

☎ 0297-46-3370

メール denen21@ktb.biglobe.ne.jp

ホームページ [「野に集い野に遊ぶ」](http://www7b.biglobe.ne.jp/~noasobi/)

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~noasobi/>



守谷市では、多くのボランティア団体が各地で、手作りによる里山づくりを行っています。何か地域で活動してみたい/自然と関わりのある活動してみたい/子供たちの遊び場を作ってみたい/みんなで楽しく汗をかいてみたいそんな思いをお持ちの方は、ぜひこの機会にご一緒に活動してみませんか。

二. 田んぼの学校で稲刈り

刈り

九月十二日(木)立沢里山の田んぼにおいて、北守谷団地の御所ケ丘、松前台、大井沢の三小学校合同の稲刈りが行われました。

九月九日(月)に関東地方を直撃した台風十五号では千葉方面に大きな被害を及ぼしましたが、守谷は進路の西側だったことなどから、それほど被害はありませんでした。

田んぼの稲も予想したほど倒伏などの影響はありませんでしたが、水位が下がらず足場が最悪の状況でした。稲刈りでありながら、田植えのように泥だらけ

になり、歩くのも大変でした。そのため、終了後の泥落としでは、今回もソーメ

ン流しの掛樋の手洗い場が役に立ちました。

開会は里山の会の挨拶や説明を受

稲刈り風景



泥だらけ、ザリガニゲット

ザリガニやカエルを捕まえて大騒ぎをしながら楽しんでいました。

脱穀作業

脱穀作業は台風十七号の雨の恐れがあったことから九月二十



彼岸花と脱穀

日(金)に急遽行いました。

今年の

雨量は少

なく、平

年の三割

減、春の

干ばつ、

六月の長

雨と日照不足、夏の猛暑の影響か

もしれません。分ケツが少なく背丈も低かったような気がします。

台風で倒伏

が少なかつたのはそのせいかもしれ

れません。守谷周辺の田んぼは概ねそのよう

な傾向で不作状況とのことでした。



稲刈り終了で掛け声

けて、子供たちは学校ごとに班に分かれて、さっそく稲刈りが始まります。みんなで協力しあい、刈り取った稲を手渡しするなどの工夫をし、一時間ほどでおだ掛けまでの作業を終了しました。作業後、子供たちは



今年の収穫



三. 竹林整備と炭焼き

令和元年も十一月から冬季の竹林整備に着手しました。

毎年の作業ではありませんが、種々技術的な工夫をしています。

伐採の手法について、当初は竹炭の品質を考慮し数年経過した竹を選抜して伐採していましたが、列状に皆伐したほうが倒した後の運搬・加工などの作業や管理が容易であることから変更しました。伐採後に四ヶ月程度の乾燥期間

を確保



竹材の加工作業



幼児による炭窯火入

していましたが、太い竹は前年度に伐採して竹林内に積み上げ保管することを試行してみました。乾燥期間によって出来上がりの竹炭のひび割れ具合や硬度にかなりの相違があるようです。特に丸竹は強度に大きな違いがあります。おだ用など里山の作業でも活用できるような細身の竹材も併せて伐採して保管しておきます。定尺裁断について、当初は一本ごとに70cmに裁断していましたが、木柵を作成して積み上げ、チ

エンソーで一

挙に加工し作業効率は大幅に向上させました。

火入れのタ イミングについて、博物館は月曜日が休館であることから、土曜日に窯詰めした後、余熱火入れを行った後にいったん閉

めて、火曜日朝一番で本火入れを行うことにしています。今回は三月二十八日(土)に博物館に運搬・窯詰め、三十一日(火)に火入れ、四月四日(土)に火止めしました。

今年と比較的乾燥した竹材を使用したので、早く焼きあがり竹酢液は少ないのではないかと予想していましたが、何か別の要因かむしろ一日長くなり、竹酢液の回収量も多いという結果でした。

今年はず測できないことばかりです。例年四月下旬窯出しですが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により、自然博物館が閉館となり、窯出しは延期となりました。三月下旬に炭焼きできたことがむしろ際どいタイミングだったと思います。

四. 新型コロナウイルスと里山祭りの延期

令和元年の北守谷夏祭りは八月



北守谷夏祭りに出店

十七日、十八日両日、立沢公園で開催され立沢里山の会は焼きそばや竹炭アート販売、パネル展示などで出展しました。順調な売り上げで、収益金は里山管理費などに活用されます。

しかし令和二年は新型コロナウイルスの影響が思いのほか深刻な状況で長引くこととなり、残念ながら中止となりました。

また、「立沢里山祭り」について、久しぶりに実行すべく二月一日(土)に実行委員会を立ち上げ、三月七日(土)の第二回実行委員会日程を六月六日(土)と決定し準備を具体的に始めましたが、コロナ騒動は日々深刻な状況となってきたことから、しばらく様子を見るために延期としました。

五、第四次里山自然再生事業について(その一)

「立沢里山祭り」の実施を打ち合わせする中で、現場状況を検討したところ、会場としては種々課題があることから、第四次目の整備を行うことになりました。

まずイベント会場として広場がやや狭く区画形状や足場が悪いことから、区画を拡張整備し、畦道の拡幅を行うとともに、広場の地盤改良のために暗渠排水整備と盛り土を行いました。

暗渠のフィルター材として、里山活動で産出した大量の籾殻と竹炭が役に立ちました。

竹炭籾殻の暗渠フィルタ



チェーンソで製材



子供たちの膝までであった田んぼの泥土を活用したので、泥深土が浅くなり田植えなどもしやすくなるはず。併せて、区画整形、

広場かさ上げによる排水改良、畦道拡幅により笹舟流などで子供たちが走り回っても大丈夫で、モグラなどによる漏水も減少するなど、一石五鳥を期待しています。
また斜面林の間伐材を活用して広場に置いたままだったテラー

入口の看板



の格納庫も併せて整備しました。コロナ対策として里山は3密とは比較的無縁なことから家族連れの来訪者が増えてきました。そのため来客の安全性を向上させるべく入口階段の改良、木道の補修、湧水地の周辺整備、入口看板の設置などを行いました。

市役所近くの屋敷林から発生した丸太を活用してベンチや椅子を整備することにしました。

経費節減のためにWEBを参考にしてチェーンソによる丸太の製材に挑戦しました。初めての取り組みでしたが、それなりに成果があった

階段と湧水周辺整備



たと思います。

子供たちの農業体験や野菜観察のため、周辺の耕作放棄地を開墾して野菜畑やハーブ園を整備しました。湧水も探索して小さな池も整備しました。

例年、冬季は炭焼きくらいで作業は少ないのですが、今年は里山の自然再生整備事業で会員には大変なご苦労をかけた

【編集後記】

守谷市内で里山活動に取り組んでいる皆さんからの情報提供が何よりも重要です。本紙への活動報告、行事の予告など記事をお寄せください。

こちらまで

メール⇒ denen21@ktb.biglobe.ne.jp